

### 自立援助ホーム「そらまめ」

#### 1 自立援助ホームとは

自立援助ホームとは、児童養護施設などを義務教育終了後に退所して就職をしたが、様々な理由で続けることが出来ない子どもや事情により家族と暮らせず住む場所もなく、行き場のない子どもたちを受け入れ、安心できる生活の場を提供し、職員が適切な援助や生活指導を行い、自立を支援する施設です。

仕事があるときも、万が一離職したときも、生活の場を提供し、子どもが自立に向けて試行錯誤を行うことが出来ます。失敗体験も見守ってもらふことで、子ども自身が自立に向けて必要なことを自覚し、身につけて自立へと繋がっていきます。

また、いったん自立に向けてホームを退所しても、実家として困ったことがあればいつでも相談に訪れることが出来るような繋がりを持ち続け、子ども達の自立支援を行っていくところです。

当法人では、男子ホームとして平成17年4月より「そらまめ」(大阪府管)と同様10月より「そらまめmitajima」(大阪府管)を、また、女子ホームとして平成21年8月より

「そらまめなでしこ」(大阪府管)を運営しています。

#### 2 ホームでの生活

「ホームそらまめ」にはいつでも笑顔で声をかけ、話を聞いてくれるスタッフがおり、温かいご飯とおみそ汁、ゆつくりと心身共に温めてくれるお風呂があるのです。そらまめの子どもたちを支える「そらまめ会」もあり、失敗体験を積み重ねながら日ごと成長する子どもたちを多くの方々に支えて下さっています。

入所中のある子どもが「僕は仕事をしてホームに帰った時にホーム長やスタッフに『おかえり！お疲れさんっ！』と明るく声を掛けてくれた時が一番うれしい！今日はすごく疲れてしんどかったけど、又明日も頑張るって仕事に行こうという元気が湧いてくる。」と言っていました。他の子ども達も意外にスタッフの『おかえり！』の一言にはうれしいこだわりを持っていきます。

#### 3 ホームの年末年始

例年12月には、男子ホームと女子ホーム合同で、もちつき大会を開催しています。今年度も平成23年12月18日に、ホームそらまめのお庭で開催しました。

入所している児童の他、自立して

現在一人暮らしをしている子どもたちや、家常理事長、行政職員さん、弁護士さんなどの関係機関や支援者ご家族で来て下さり、わいわいと楽しい催しとなりました。

当日は、静岡県出身の弁護士さんが地元漁港で入手した新鮮な桜海老(甘くて本当においしいんです!)を今年も取り寄せて下さり、色合いも美しいえびのおもちを作ったり、よもぎもちやいちご大福など、種類豊富なおもちをみんなですついたり、こねたり、丸めたりしました。

ホーム入所中の子どもたちにとっては、季節の行事を体感する機会になりますし、ホーム出身の先輩や関係機関、支援者との交流を通じて、多くの支援が身近にあることを実感する貴重なひとときです。

また、大阪大手前ロータリークラブ様より、子どもたちの誕生日にとても大きなホールケーキをいつもの日にご持参の上、一緒にお祝いして下さるし、年末31日には豪華なおせち料理を男子ホーム・女子ホームそれぞれ3段ずつご寄贈下さり、スタジオエムの前川カメラマンは大きな鯛を自前で焼いて「めでたい」をご寄贈下さいます。これらのごちそうを

前に、初めて本格的な日本のお正月を体験する入所者に加えて、ホーム出身の先輩も「里帰り」してきて、賑やかな年始を迎えました。



#### 4 おわりに

「二人ひとりを大切に育てたい」というのがスタッフ一同のモットーです。今後も、子どもの自立への強い意志と意欲を大切にして、ホームでの生活が充実するよう願っています。

(ホームそらまめ

ホーム長 藤川 栄治)